

## 献呈の辞

小倉眞先生，江島泰子先生，于暁飛先生の三名の先生方が，令和3年3月末付をもってご退職されます。三名の先生方は，ともに長年にわたって日本大学法学部のためにご尽力下さり，教職員，学生の受けた恩恵は計り知れない程大きなものです。ここに謹んで感謝の意を表し，三名の先生方のご人徳を慕い，ご学風を仰ぐ者たちが執筆し編纂いたしました本号を退職記念号として献呈いたします。

小倉眞先生は，昭和49年に日本大学文理学部地理学科をご卒業後，日本大学大学院理工学研究科にご進学され，理学博士の学位を取得されました。法学部には，平成2年4月に助教授としてご着任になり，以後，一貫して法学部での研究・教育・運営にご尽力されてきました。

先生は，地理学の中でも農業地理学をご専門とされており，大都市近郊における農業経営の形態や時代的変遷について，地理学的手法を用いてご研究されるとともに，これら農業地域の持続可能な発展性の検討もご研究の対象とされています。また，歴史地理学会（評議員，常任委員長）や日本大学地理学会（評議員，常任委員，専門委員等）など，諸学会の活動にも寄与されました。このようなご専門ゆえに，法学部では総合科目「地理学」のみならず，専門展開科目「地域開発論」「農業政策」，教職科目「地誌学概論」などもご担当されました。特に教職課程における先生のご功績は絶大なるものがあります。また，本学部の次長，企画広報担当の要職を担われたほか，各種委員会の委員長を歴任されるなど，学部の運営においても多大な貢献をされました。さらには，日本大学ハンドボール部の副部長を長らく務められ，学部を越えて多くの学生たちから慕われております。

江島泰子先生は，筑波大学大学院において修士の学位を取得され，さらにリュミエール・リヨン第二大学においても修士及び博士の学位を取得されました。その後，奥羽大学で教鞭を執られ，本学部へは平成15年に助教授としてご

着任になりました。爾来、フランス語教育を中心として労苦を厭われず各種校務にご尽力されてきました。フランス語科目を中心にご担当されつつ、実用フランス語技能検定試験、アヴィニョン大学での語学研修の業務にも取り組まれ、加えて西ブルターニュ大学との学术交流提携関係の締結にもご尽力いただきました。本学部フランス語教育はもちろん、語学教育全般、学部運営全体のためにも常に心を砕かれ、図書館分館長といった要職に就かれたほか、外国語領域会議主任を始め、外国語能力開発委員会、法学部人権委員会、FD委員会の委員長などを歴任されてきました。

先生のご専門は19世紀フランス文学で、特に宗教的表象に関してご研究をなさっています。その研究成果には極めて目覚ましいものが見られますが、特にご著書『世紀末のキリスト』、『「神」の人——フランス19世紀文学における司祭像——』は、国際文化表現学会の学会賞に輝いております。また、国際文化表現学会やフランスのルナン研究学会において精力的に学会活動に参画され、学会運営にも多大な貢献をなされてきました。

于曉飛先生は、平成2年にご来日された後、NHK国際放送局アナウンサー、NHK中国語講座ゲスト講師、大学非常勤講師を務められました。平成11年に千葉大学大学院へご進学され、平成14年に同大学院で博士の学位を取得されています。そして、本学部へは平成15年に専任講師としてご着任され、以来、本学部の中国語教育にご尽力されてきました。中国語アナウンサーのご経験者ゆえの流麗で正確な中国語発音とその熱心なご指導により、本学部の多くの学生が各所の中国語弁論大会で優秀な成績を収め、また学習意欲を奮い立たせて中華圏留学へと旅立って行きました。

先生のご専門は文化人類学で、来日前、黒竜江省佳木斯（ジャムス）でアナウンサーをなされていた頃、黒竜江（アムール川）一帯に居住するホジェン族（中国少数民族の一つ）の個性的且つ魅力的な伝統文化に接して、その素晴らしさのみならず学術的価値に気づかれ、以後度々その居住地域を訪問されるようになったとのこと。千葉大学大学院進学後は、ホジェン族の口承文芸である「イマカン」を研究題材として研鑽を積み、現地調査を通してご論文を纏

め上げられ、博士の学位を取得されました。本学部へご着任後も、一貫して同方面のご研究に精力的に取り組まれ、日本・中国・米国・ロシア等の国際会議においてご講演を行い、ご活躍されてきました。

本年度（令和2年度）は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、他大学と同様に、本学部においても年度初頭よりオンライン授業の実施を余儀なくされ、教職員、学生とも皆慣れない環境下にあって大変な苦勞をしてまいりましたが、三名の先生方はそのような苦勞を物ともされず、最後まで本学部の教育研究にご尽力され、私たち同僚教員に大きな刺激を与えて下さいました。ここに重ねて厚くお礼申し上げます。

最後になりますが、小倉先生、江島先生、于先生には、今後とも後進に対して一層のご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、先生方の益々のご活躍を祈念し、献呈の辞といたします。

日本大学法学部長 小 田 司

